

高齢の患者に対する装具介入

装具の介入は、関節の疼痛・浮腫の予防、安定性とサポート、矯正や拘縮予防といった点で、高齢の患者に恩恵をもたらします。

高齢の患者様に対応する際、医療従事者は、患者様が自立したADLの自立度合いとともに、個々の患者の身体状況や認知状態について考慮しなければなりません。

装具提供の前に、装具介入の明確なゴールが患者個人に合ったものであり、そのゴールが手の自立した機能維持のため、どのように患者個人を援助するか考えることは大切です。

医療従事者は個々の患者の病歴、固有の生活状況、認知能力(視覚・聴力・言語能力を含む)について評価をするべきです。

創傷治癒、皮膚の完全性、浮腫、睡眠パターン(安静用装具装着の場合)、手の震えに効果をもたらすものとして、高齢者に処方される明確な薬物療法について確認することも重要です。

装具の構造はいかなる目的であっても、つけ外しが簡単、快適でシンプルなデザインであり、軽量で通気性の良い素材が用いられ、最大限の機能を発揮できるものであるべきです。

加えて、取扱説明書は十分に内容が述べられたものであり、患者と介護士には、言葉やデモで説明できるレベルになるまで説明しなければなりません。

高齢患者に効果を発揮する装具例:

CMC 装具(変形性関節症)



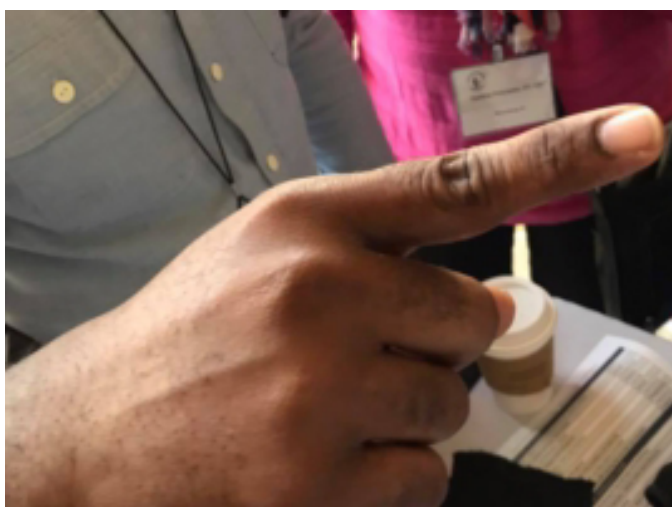
母指 MP 安定装具 (MP 関節亜脱臼)



MP 関節屈曲防止用ばね指用装具 (屈筋腱滑膜炎)



スワンネック変形用装具 (関節炎または外傷による PIP 過伸展)



関節炎により疼痛が生じている関節の固定用手指・手関節装具



外傷後の骨のサポート・保護用装具



【高齢者への装具提供に関する有益なヒント】

- ・取扱説明書には大きな文字や絵を入れましょう
- ・取扱説明書は家族や介護士にも配布しましょう
- ・正しい装着手順がわかるよう、ストラップには番号をふりましょう
- ・楽につまめるように、ストラップの端にスプリント用シートの端材を貼りましょう
- ・つけ忘れの無いよう、色付きのストラップを使いましょう
- ・ヒートガンとスプリント用シートの端材を使ってストラップを装具にしっかり取り付けましょう
- ・視覚に問題を抱えている患者様には、色付きの素材やストラップを使いましょう
- ・装具の付け方について毎日のルールを決め、使用しなくなった後は所定の場所に保管しましょう
- ・患者や介護士に、肌への刺激や赤みの確認の仕方について説明しましょう。装具の下へのストックネットやソックスの使用の変更・提案が必要になることがあります。
- ・病院を離れる前に、ご本人、ご家族や介護士が装具の脱着ができるか確認しましょう

お薦めの製品：オルフィライト・オルフィキャスト